

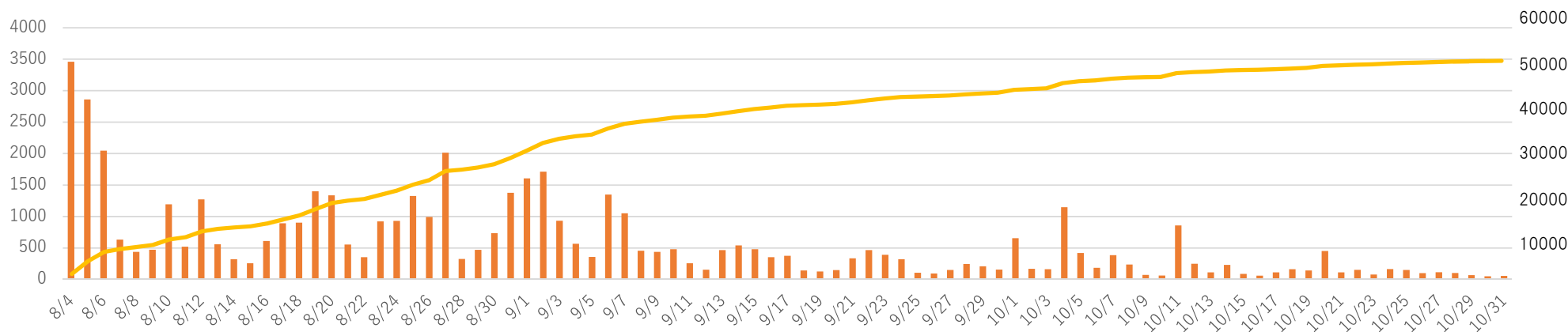
抗原定性検査 検査キット配布事業 アンケート中間集計の考察

抗原定性検査（簡易検査キット）を活用した水際対策として、8月4日から開始した検査キットの配布事業を行っているが、利用した方から返送されたアンケートの10月末日までの集計についての考察を、月ごとの比較も行いながら主要な項目について行う。

○申し込み数に見る傾向

8月4日の配布開始時に最大値の3,461個を記録し、その後の2日間も2,000個を超えており、お盆の帰省時に間に合うための申し込みとこの事業に対する市民の方の期待感がうかがえる結果となった。9月に入り全国的な感染者数の減少とともに申込数も減ってきている。

日ごとの申込数及び累計申込数

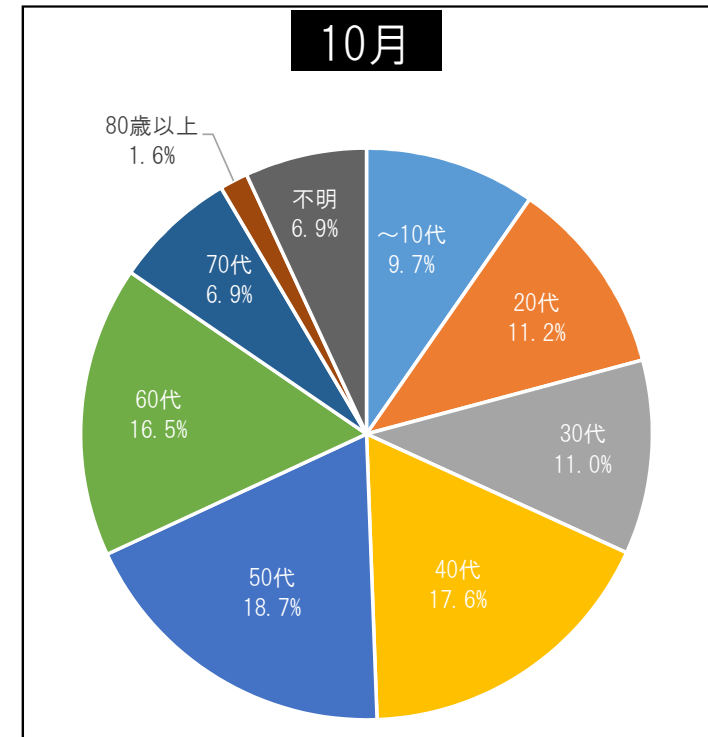
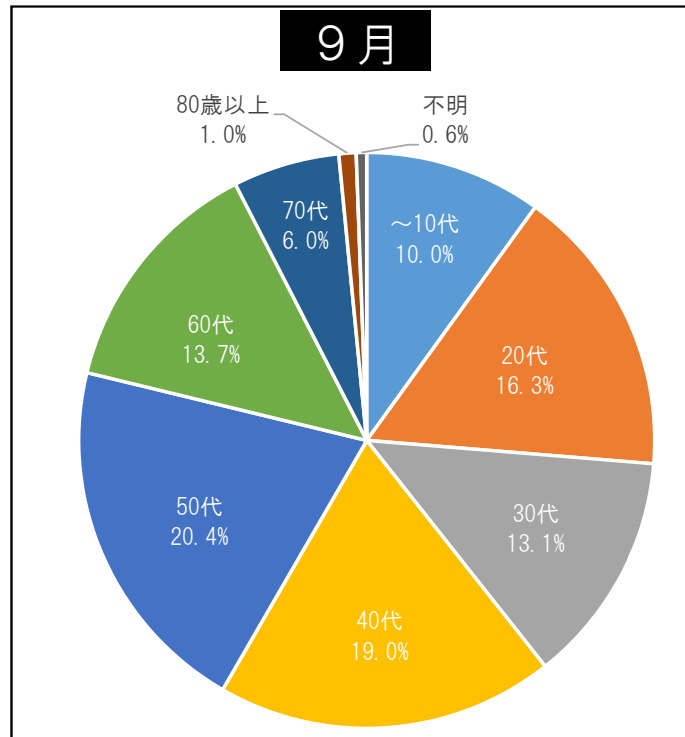
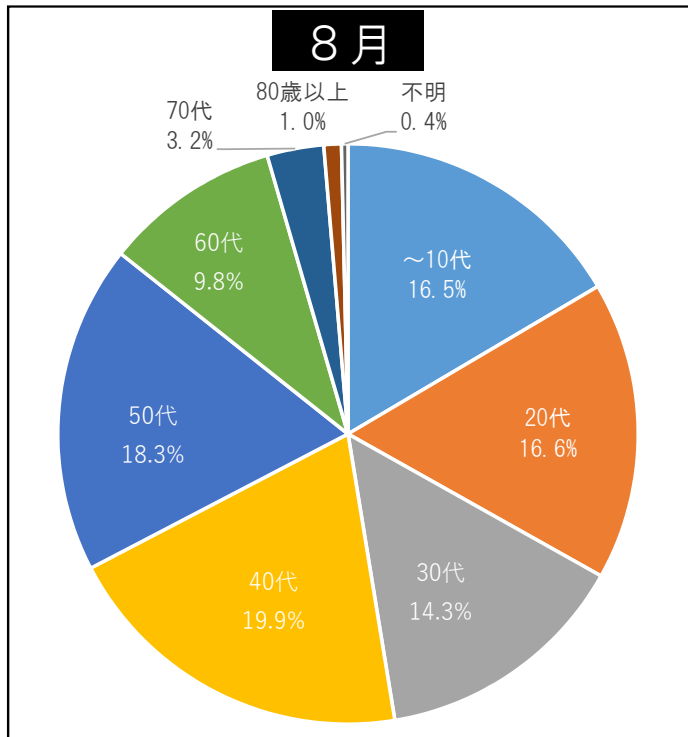


※アンケートの回収率

キット配布数：	8月 29,164	9月 14,443	10月 7,082	計 50,689
アンケート回収数：	8月 2,248	9月 3,088	10月 2,130	計 7,466
アンケート回収率：	8月 7.7%	9月 21.4%	10月 30.1%	合計回収率 14.7%

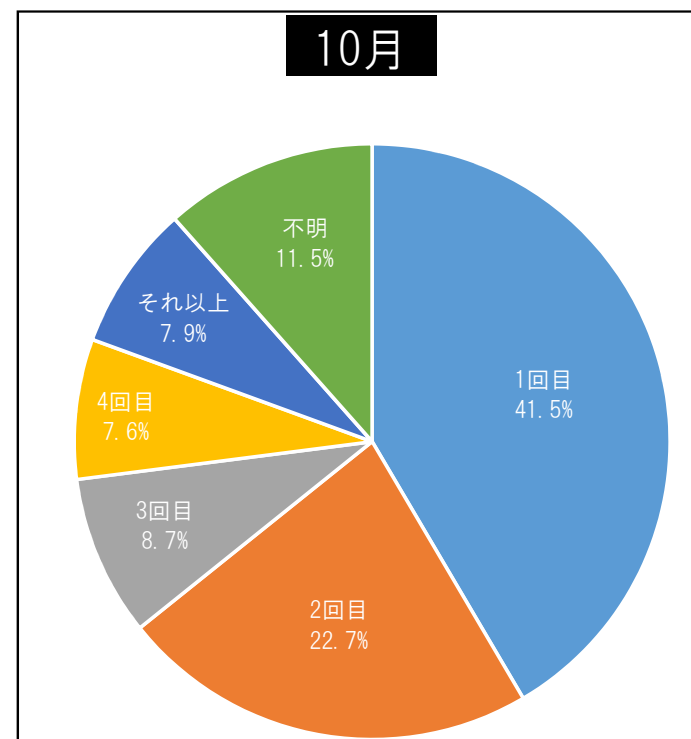
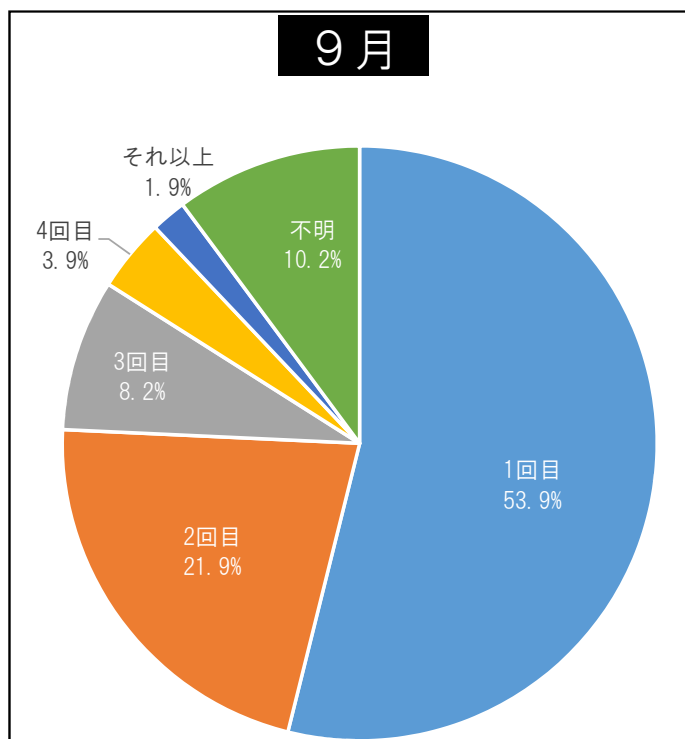
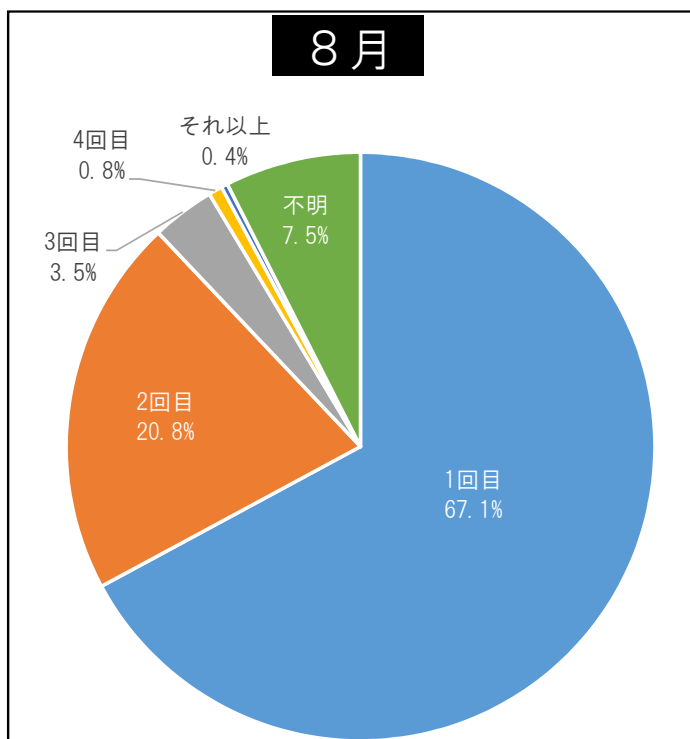
○使用者の年代の傾向

10代～20代の若者の利用者が8月33.2%、9月26.3%、10月20.9%であり、お盆や夏休み期間における帰省の際に利用したための傾向と推察される。また他の年代では60代の利用者が8月9.8%、9月13.7%、10月16.5%と増加傾向であり、感染状況が落ち着いてきた中での旅行等の際の利用が増えたものと考えられる。



○検査回数

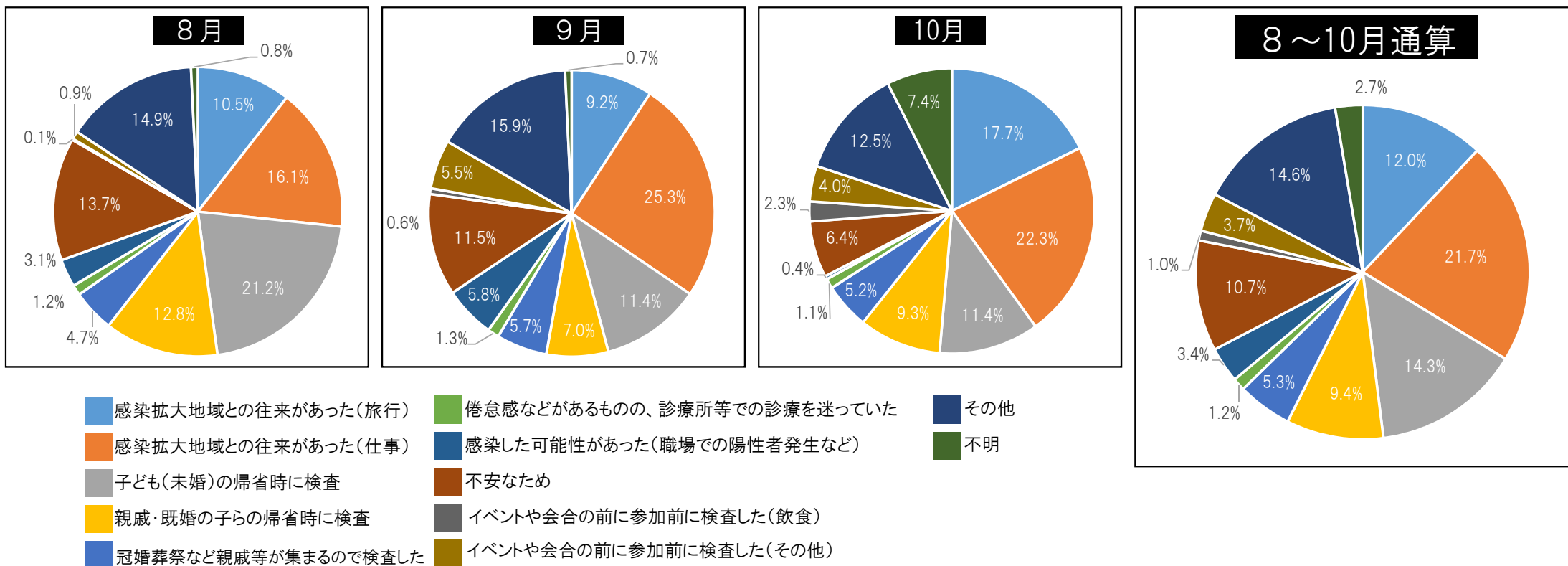
8月には67.1%であった1回目の方が10月には41.5%に減少しており、3回目4回目の割合が増えている。市民に定着していることがうかがえると共に、新規の方も4割以上いることから、市民の間に広がりを見せていることがうかがえる。



○希望理由

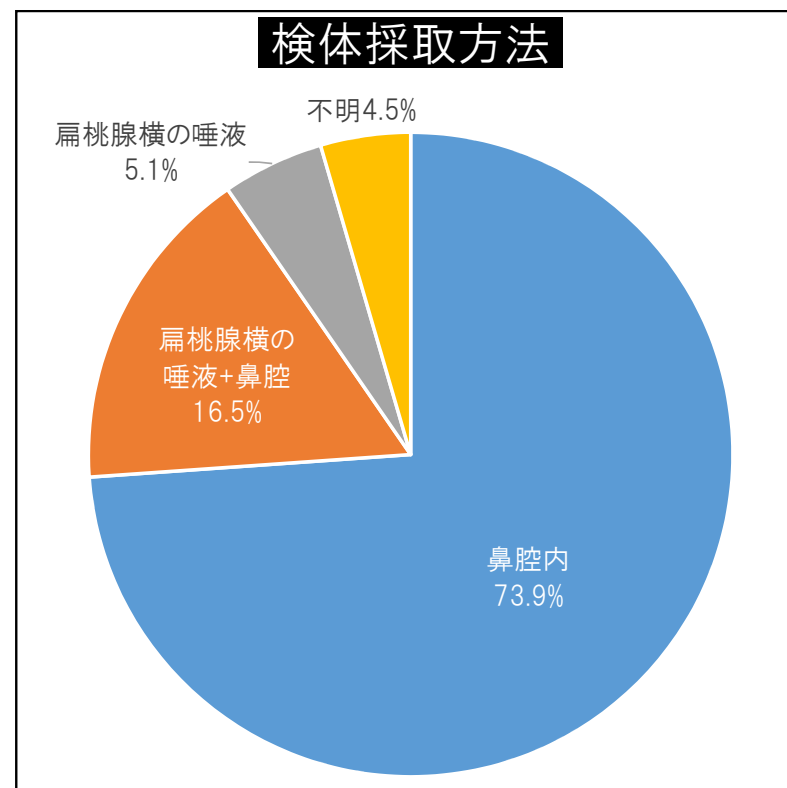
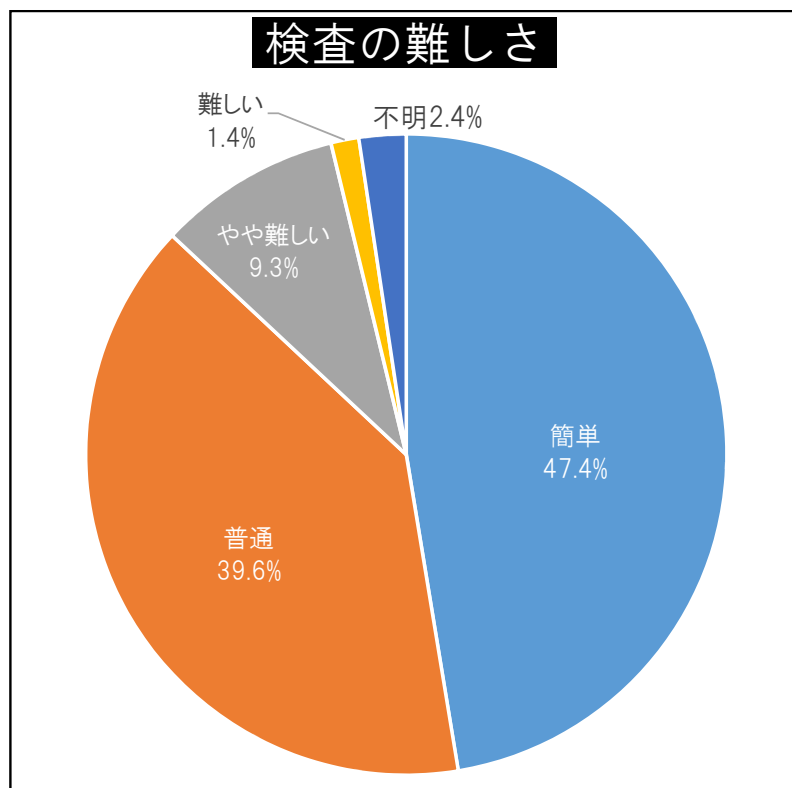
他地域との往来(仕事・旅行)と帰省(子供・親戚等)のため検査を行った方が8月60.6%、9月52.9%、10月60.7%と常に半数以上であり、水際対策の趣旨を十分に理解していただいていると言える。その中で帰省は8月34%であったものが9月18.4%、10月20.7%と減少している一方、旅行での他地域との往来が8月10.5%、9月9.2%に対し10月17.7%と増加している。

新たな選択項目である「不安なため」が8月13.7%、9月11.5%、10月6.4%と第5波の収束とともに減少してきてはいるが、3か月通算で10.7%おり、症状もなくリスクのある行動もしていないものの感染している不安を抱えている方が一定以上おり、市民の安心に繋げている事業であると言える。



○使用時における傾向

検査の難しさについては、「簡単」と「普通」を合わせて3か月通算で87.0%、検体採取方法は「鼻腔内」と「唾液+鼻腔」を合わせて3か月通算で90.4%と、検体採取も説明書のとおり問題なく行えていると考えられる。



○その他自由意見より

- ・全般的に安心できた、感謝する、よい取り組みだとのこと意見をいただいている。
- ・キットで検査をすることにより、自分自身の感染防止行動への意識が高まる、といった意見もあり、陽性者の早期発見だけでなく 心理的にも効果があることがうかがえる。
- ・検査キットで陽性となり、PCR検査でも陽性となった方から「キットで検査していなければPCR検査を受けるのはもっと遅くなった」との回答をいただいております、その後の感染拡大を防いだ実際の例として効果が確認できる。

○キーワード別件数(自由記載1,443件中)

- ・ありがたい・ありがとう 473件
- ・感謝 28件
- ・安心 379件
- ・助かった・助かる 169件
- ・よかった・良かった 95件
- ・続けて・継続 83件
- ・簡単 77件
- ・素晴らしい・良い・よい(試み、取り組み、施策、事業等) 102件